

参加料の記載のないものは無料です。／市外局番（0154）を省略しています。／市役所本庁舎は「市役所」、市役所防災庁舎は「防災庁舎」に省略しています。

22(令和4)年度は後期高齢者医療の保険証を2回送付します

10月1日(土)から、後期高齢者医療被保険者のうち、一定以上の所得(単身世帯の場合は年金収入+その他の合計所得金額が200万円以上、世帯に被保険者が2人以上いる場合は320万円以上)のある方は、現役並み所得者(医療費の自己負担割合が3割の方)を除き、医療費の自己負担割合が2割となります(非課税世帯の方は、1割負担で変更ありません)。

この制度改正に伴い、22(令和4)年度は全員に保険証を2回(7月・9月)送付します。7月に送付する保険証の有効期限は9月30日(金)です。10月以降に使用する保険証は9月中に送付します。※限度額認定証は7月に1年間有効のものを送付。

図医療年金課医療給付担当(図31-4526)、図市民課市民サービス担当(図66-2210)、図市民課市民サービス担当(図01547-6-2231)

環境



環境事業課からのお知らせ

●ごみや資源物の排出時間について

決められた時間を過ぎてからのごみ出しが原因によるごみの散乱が多くなっています。収集後にごみを出しても収集されませんので、必ず決められた時間までに出してください。

各地区のごみ出しの時間＝[釧路地域]午前9時まで、[阿寒地域]午前8時まで、[音別地域]午前8時30分まで

●7月の不燃ごみの収集日

[釧路・音別地域]第1・3水曜日の地区は7月6日(水)、20日(水)、第2・4水曜日の地区は7月13日(水)、27日(水)、

[阿寒地域]第2・4金曜日の地区は7月8日(金)、22日(金)、第2・4土曜日の地区は7月9日(土)、23日(土)※各該当地区はクリーンカレンダーをご覧ください。ただかお問い合わせください。

●資源物「プラスチック製容器包装」の適切な分別をお願いします

資源物のプラスチック製容器包装で、「食べ残したもの」「中身が入ったままのもの」「汚れているもの」は可燃ごみとして排出してください。このようなものが資源物と一緒に出されると、カラスによるごみの散乱を招き、リサイクルの工程で手作業によって取り除く必要が生じるなど、さまざまな問題の原因となります。プラスチック製容器包装を出す際には次の点に注意し、適正な排出にご協力をお願いします。

○「プラ」マークが無いものや汚れが落ちない場合は可燃ごみで排出。

○中身は使い切り、汚れを落としてから排出。

【共通】図環境事業課廃棄物対策担当(図31-4551)、図市民課環境担当(図66-2211)、図市民課環境担当(図01547-6-2231)

健康



不育症治療費助成

北海道の実施する不育症治療費助成の決定を受けている方を対象に、夫婦の経済的な負担を軽減するため、不育症治療費を助成します。

図1回の検査・治療につき限度額5万円／図詳細は、市ホームページ等をご確認ください／図健康推進課(図31-4524)

夜間急病センターの利用について

夜間急病センターや救急当番病院は、夜間や休日に体調が悪くなった場合に、応急措置を行うところです。現在の救急医療体制を維持していくためにも、次のことにご理解とご協力をお願いします。

救急医療のルール

○救急医療は突然発症した病気の治療や日中治療したが夜間容態が急変した場合などの救急患者を診るための体制であり、日中何らかの理由により受診ができない場合の夜間診療所ではありません。

○救急医療は、専門医による診察ではありませんので、担当した医師が重症と判断した場合には、専門医へ紹介し受診していただくことになります。

○病気の治療はできるだけ早めに日中治療を心掛けてください。

○普段から「かかりつけ医」によく相談し、家族みんなの健康管理を心掛けましょう。

●釧路市夜間急病センター(住吉2-12-37図44-6776)

診療科目＝内科、小児科／受付時間＝午後6時30分～翌午前6時30分／診療時間＝午後7時～翌午前7時

●救急医療情報案内センター(図0120-20-8699、携帯電話・PHS 011-221-8699)



福祉



外国人高齢者・障害者福祉給付金制度

この給付金は、公的年金の制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者・障がい者の方々が、地域で自立し、安定した生活を続けていくことを支援し、その福祉の向上を図るためのものです。

図市に住民登録されている外国人の方のうち、公的年金の受給要件を制度上満たすことができない方であり、所得が基準額以内の方で、かつ次のいずれかに該当する方

①高齢者＝26(大正15)年4月1日以前に生まれた在日外国人のうち、永住許可または特別永住許可を受けている方(61(昭和36)年4月1日以降に日本国籍を取得した方を含む)

②障がい者＝62(昭和37)年1月1日以前に生まれた重度心身障がい者のうち、82(昭和57)年1月1日以前に重度心身障がい者であった在日外国人または同日以降重度心身障がい者となり、その初診日が同日以前の在日外国人の方。61(昭和36)年4月1日以降82(昭和57)年1月1日以前に日本国籍を取得した重度心身障がい者のうち、日本国籍取得日前に満20歳に達していた方で、日本国籍取得日前に重度心身障がい者であった方、または日本国籍取得日以降に重度心身障がい者となり、その初診日が同日以前の方

※この他にも支給要件がありますので、詳しくはお問い合わせください。

月額＝高齢者1万円、障がい者2万5,000円(年3回に分けて支給)／図介護高齢課高齢福祉担当(図31-4539)、障がい福祉課(図31-4537)

各種相談・救急当番病院・各種がん検診

各種相談

●お酒の悩み相談(健康推進課図31-4525)

図7月13日(水)午後1時～3時／図防災庁舎3階相談室3(スズラン)※まずは防災庁舎4階健康推進課にお越しください。

●こころの健康相談※秘密厳守(釧路保健所図65-5825)

面談相談(精神科医)＝予約制／電話・来所相談(保健師)＝月～金曜日午前9時～午後5時(祝日・夜間除く)

救急当番病院

●休日緊急歯科診療※日曜日、祝日(城山2-2-15釧路歯科医師会館内図42-8336)

時間＝午前10時～午後0時30分、午後2時～4時

●小児救急電話相談

【プッシュ】(図#8000)／【その他】(図011-232-1599)

時間＝午後7時～翌午前8時

子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券が届きます

22(令和4)年4月1日現在、20歳の女性には子宮頸がん検診、40歳の女性には乳がん検診を無料で受けられるクーポン券を5月下旬に発送しました。この機会にぜひ受診しましょう。

※前年度の対象者で新型コロナウイルス感染症の影響により受診できなかった方も受診することができますので、健康推進課(図31-4524)へお問い合わせください。



胃がん・肺がん検診

図月～金曜日、第1・3土曜日／図40歳以上(1年に1回受診可)／図受診日の5日前までに直接、釧路がん検診センター(図37-3370)へ

検診項目・内容		料金	検診機関
胃がん(バリウム検査)		1,160円	釧路がん検診センター
肺がん	X線のみ	470円	
	X線・喀痰検査	1,080円	

子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診

図子宮頸がん検診は20歳以上で偶数年齢の女性、乳がん検診は40歳以上で偶数年齢の女性(偶数年齢時に1回受診可)、大腸がんは40歳以上の市民(1年に1回受診可)／図直接下記の検診機関へ

検診項目・対象		料金	検診機関
子宮頸がん(頸部細胞診)		1,220円	釧路がん検診センター
		1,270円	上記以外の検診機関
乳がん(マンモグラフィ)	40歳代	1,300円	釧路がん検診センター
	50歳以上	1,110円	
	40歳代	1,260円	上記以外の検診機関
	50歳以上	1,050円	
大腸がん(便潜血検査)		550円	釧路がん検診センター
		630円	上記以外の検診機関

検診機関	子宮	乳
釧路がん検診センター(図37-3370)	○	○
釧路孝仁会記念病院(図0120-133-527)	○	○
釧路赤十字病院(図22-7171)	○	○
釧路労災病院(図22-7191)	○	○
市立釧路総合病院(図41-6121)	○	○
道東勤医協釧路協立病院(図24-6811)	－	○
足立産婦人科クリニック(図25-7788)	○	－
くしろレディースクリニック(図32-1020)	○	－
ひろセクリニック(図64-6315)	－	○

※大腸がんの検診医療機関は、市ホームページでご確認いただくか、健康推進課へお問い合わせください。

【各検診共通】※生活保護受給世帯の方は、受給証明書持参で無料となります。※「総合がん検診受診券」もご利用いただけます(対象者のみ)。／図健康推進課(図31-4524)

日曜がん検診申込受付中

図7月24日(日)／図釧路がん検診センター／図胃・肺・大腸・乳・子宮頸がん検診※各検診定員になり次第締め切り／図「総合がん検診受診券」「無料クーポン券」もご利用いただけます(対象者のみ)